

グローバル社会を生き抜く力の育成をめざした 産学連携教育(CWIE*)の確立に向かって

*CWIE(Cooperative and Work-Integrated Education)とは

学修と仕事を統合したコーオペ教育、インターンシップ、国際コーオペ、サービスマーケティング等を含む包括的な経験教育プログラムです。

ご挨拶



WACE CEO
ポール・ストーンリー氏

WACE世界大会実行委員会のメンバーを代表し、「グローバル社会を生き抜く力の育成をめざした産学連携教育(CWIE)の確立に向かって」をテーマに掲げるWACE第19回世界大会をご案内させていただけることを光栄に存じます。

2015年8月19日～21日の3日間にわたり開催される今回のWACE世界大会は、今年創立50周年を迎える京都産業大学において開催され、世界各国から500名以上の参加者が一堂に会する大会となります。この国際大会では、世界中の産学連携教育に携わる同志と、ノウハウを共有し、ネットワークを作り上げる素晴らしい機会を提供します。来る8月、皆さまにお会いできます日を楽しみにしております。

1995年にWACEのCEOに就任して以来、産学連携教育の発展・拡大に携わっている。就任以前は10年間アメリカ合衆国・マサチューセッツ州の成人教育機関であるCambridge Collegeで、組織開発および個人間コミュニケーションの分野を担当し、学長を務めた経歴を持つ。



京都産業大学 学長
大城 光正

京都産業大学は、1965年の開学以来、これまで産学連携教育に注力し、現在まで順調な発展を遂げてまいりました。創立時には、経済学部と理学部の2学部からスタートし、現在では8学部10研究科を擁する13,000人余りの学生が集う総合大学になっています。

創立50周年を迎えた本年8月、産学連携教育の普及をめざす国際機関である世界産学連携教育協会(WACE)が主催するWACE第19回世界大会を日本で初めて、本学で開催いたします。世界から産学連携での人材育成に取り組む関係者が一堂に集まる機会となります。本学を代表いたしまして、皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

1949年広島県生まれ。広島大学文学部文学科、同大学大学院文学研究科(言語学専攻)修士課程修了、博士課程単位取得退学。広島大学博士(文学)。岡山理科大学講師を経て、1985年より京都産業大学勤務。2014年10月から現職。専攻分野は、言語学(印欧アナトリア諸語の比較研究)で、著書に『印欧アナトリア諸語概説』『世界史史料(第1巻)』などがある。

WACE 第19回世界大会 プログラム

世界大会は基調講演、ワークショップおよびプレゼンテーションなど、多様な形態の事例報告および研究発表で構成されます。一部のプログラムは、通訳をご用意しております。また、日本の企業、大学、NPO法人などを対象に、産学連携教育の実践報告や海外の大学・企業関係者との意見交換などを行い、日本型コーオペ教育*を考える特別プログラム「**ジャパンプログラム**」を開催します。ジャパンプログラムは日本語にて進行いたします。

*コーオペ教育とは

産学連携教育プログラムの一つで、教育目標・プログラム・指導方法を企業と教育機関が共同で開発し、長期や複数回のインターンシップを含んだ学修プログラムです。

	WACEプログラム	ジャパンプログラム
8/19 [水]	8:00 受付	
	9:00▶10:00 オープニング	
	10:30▶11:30 基調講演 ●講演者/富士ゼロックス株式会社 代表取締役会長 山本 忠人氏 ●講演タイトル/「企業が求める人材と大学教育への期待」	
	11:45▶12:45 分科会 A	
	13:00▶14:00 昼食	
	14:15▶15:45 分科会 B	
8/20 [木]	16:30▶18:00 グループディスカッション	
	18:00▶19:30 レセプション(軽食あり)	
	9:00 受付	
	9:30▶10:30 全体会	
	11:15▶12:45 分科会 C	
	12:45▶14:15 昼食	
8/21 [金]	14:30▶15:45 全体討論	
	16:30▶17:30 分科会 D	
	17:45▶18:30 学生による 日本文化紹介	
	9:00 受付	
	9:30▶10:30 全体会	
	11:15▶12:45 分科会 E	
13:00▶14:00 昼食		
14:15▶15:15 分科会 F		
15:30▶17:00 全体会		
19:00▶22:00 晩餐会と表彰式(京都ホテルオークラ)		

Special Topics

WACEプログラムの各分科会において、以下のテーマに関する事例報告、研究発表が行われます。

- Employability(就業力)
- Life Skills(ライフスキル)
- Application of Academic Learning(大学での学びの実践)
- Innovation & Entrepreneurship(革新と起業家精神)
- Curriculum Development(カリキュラム開発) 他

事例報告等の共通テーマ

プログラムA 14:15▶17:30

プログラムB

プログラムC 11:15▶12:45

プログラムD 14:30▶17:45

プログラムE 10:45▶15:15

アジアセッション [日程調整中]

日本を含むアジア6カ国から登壇者をお招きし、各国におけるコーオペ教育の歴史、現状の課題について報告していただきます。コーオペ教育がまだ広く浸透しているとは言えないアジア地域において、コーオペ教育の発展に向けた諸課題を共有し、解決に向けた手掛かりを探ります。

企業から見た国際インターンシップ(パネルセッション) [日程調整中]

グローバル人材育成・管理戦略における国際インターンシップ受け入れの重要性、課題、今後の展望を探ります。

●パネラー: ウェスタン・デジタル社、オムロン株式会社 他

理工系コーオペプログラムの実践 [日程調整中]

海外における理工系学生の長期就業プログラムは、専門分野との学びを意識した内容となっています。本セッションでは、1919年よりコーオペ教育を導入し、現在は年間4,000名を超える学生が参加しているドレクセル大学など、国内外3大学より理工系コーオペ教育の実践事例を報告していただき、国内の理工系向けプログラムの拡充に向けた知見を提供します。

登壇者: 東京工科大学 工学部長/工学部機械工学科教授 大山 恭弘氏 他、ドレクセル大学含む海外2大学

※WACE分科会概要、登壇者の情報は7月中旬にWACE第19回世界大会Webサイトに掲載する予定です。(http://www.kyoto-su.ac.jp/path/wace/)

※プログラムの内容、スケジュールは変更になることがあります。最新情報は、WACE第19回世界大会Webサイトをご確認ください。



山本 忠人氏
富士ゼロックス株式会社 代表取締役会長

1945年生まれ、神奈川県出身。1968年山梨大学工学部卒業、同年富士ゼロックス入社。1994年取締役、1996年常務取締役、1998年常務取締役 鈴鹿富士ゼロックス代表取締役社長兼務。2002年代表取締役専務執行役員を経て、2007年代表取締役社長に就任(同社初の技術系出身)。2015年6月より現職。富士フィルムホールディングス取締役を兼任。

基調講演の概要紹介

富士ゼロックス株式会社では、グループを挙げて大学と連携し、実務実践型インターンシップやPBL型の就業体験など学生のキャリア形成支援に積極的に取り組んでいます。
インターンシップに参加した社員へのアンケート調査などを通じて、これらのプログラムに参加して入社した社員は、入社後のパフォーマンスや会社への忠誠心が高いことがわかりました。
本講演では、企業が求める人材像を起点として、産学連携教育をより発展させることの重要性について、企業の視点でその教育のメリットを考察します。

ジャパンプログラム

【テーマ】
グローバル社会を生き抜く力の育成をめざしたコーオプ教育の確立に向かって

日時	テーマ	概要	登壇者
8/19 (水) 14:15 ▼ 17:30	企業・学生・大学から見た 長期インターンシップの 成果と課題	昨年4月、一部改正された「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)」において、教育効果の高い中長期インターンシップや、コーオプ教育プログラムの重要性が明記された。本分科会では、長期インターンシップに的を絞って、これらのプログラムに関わる企業・受講生・担当教員が、各立場から具体的事例を報告し、成果と課題を共有する。それらの内容を通して、同プログラムを高等教育にどう位置付けていくのか、参加者とともに探究する。	◆新潟大学の取り組み □三幸製菓株式会社 システムマネジメント部 次長 杉浦 二郎氏 □プログラム受講生 □新潟大学 教育・学生支援機構キャリアセンター 准教授 西條 秀俊氏 ◆京都産業大学の取り組み □株式会社ファーストリテイリング 人事部 採用部長 中西 一統氏 □株式会社堀場製作所 グローバル人事部 人材開発担当部長 堀井 愛士氏 □プログラム受講生 □京都産業大学 経営学部 教授 東田 晋三
8/19 (水) 14:15 ▼ 17:30	産学公連携による 地域経済・社会を担う 「グローバル人材」の育成 ー京都という地の利を活かしてー	京都の経済界と大学が共同で立ち上げた、特定非営利活動法人グローバル人材開発センターは、大学群、企業群、行政の間に入り、企業と学生が連携する実践的なプロジェクトをコーディネートすることにより、地域経済・社会を担う得た学生を育成する事業に取り組んでいる。産学公連携の取り組み、グローバル人材資格制度、企業と学生の新しい対話の場の創出などの紹介よりはじまり、地元企業人に登壇いただく産学公連携パネルディスカッションを通じて、参加者と意見交換を行う。地域振興、雇用のミスマッチの解消など、この枠組みのもつ可能性、今後の課題について議論を深める。	□京都信用金庫 壬生支店 支店長 井崎 重光氏 □土山印刷株式会社 代表取締役社長 土山 雅之氏 □プログラム受講生 □特定非営利活動法人グローバル人材開発センター チーフコーディネーター 西垣 翔太氏 □コーディネーター: 京都産業大学 法学部 教授 中谷 真憲
8/20 (木) 11:15 ▼ 12:45	インターンシップの 充実を担う 専門人材の育成	大学等で質の高いインターンシップの普及拡大を図る上では専門人材の育成、強化が不可欠である。文部科学省と日本学生支援機構(「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(テーマB)」(26年度)、「インターンシップ等を通じた教育強化」(27年度)の全国推進組織)から、この分野における海外先進国の専門人材育成の状況にも触れながら、日本における専門人材育成の現状、課題、専門人材育成のための方策、今後の方針等を説明し、今後の日本の大学等における専門人材の育成のあり方について討議する。	□文部科学省 高等教育局 専門教育課企画官 関 百合子氏 □日本学生支援機構 学生生活部長 山田 総一郎氏
8/20 (木) 14:30 ▼ 17:45	産学連携PBL教育の 重要性とその展開 ー日本から世界を見据えてー	PBL(課題解決型授業)をテーマとし、どのように産業界・行政・NPO・地域と大学とが連携すれば、教育効果を高め、かつ成果を生み出せるかについて議論し、参加者と共有する。 前半は人材育成を様々な組織が連携して行う意義について、高等教育学の視点と現場の視点から語り合い、後半は連携を成果につなげるための仕掛けについて、企業・行政・大学などそれぞれの立場から事例を豊富に紹介する。	(前半) □東京大学大学院 教育学研究科 教授 本田 由紀氏 □認定特定非営利活動法人 育て上げネット 理事長 工藤 啓氏 □京都産業大学 名誉教授 後藤 文彦 □コーディネーター: 京都産業大学 共通教育推進機構 准教授 松尾 智晶 (後半) □JOHNNAN株式会社 代表取締役 山本 光世氏 □兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 准教授 有山 篤利氏 □KBS京都 アナウンサー 竹内 弘一氏 □一般社団法人京都経済同友会 理事事務局長 豊田 博一氏 □京都産業大学 共通教育推進機構 准教授 松尾 智晶 □コーディネーター: 京都産業大学 経営学部 准教授 伊吹 勇亮
8/21 (金) 10:45 ▼ 15:15	高等学校における キャリア教育の実践 ー次代を担う人材の育成を目指してー	前半は、京都市立・京都府立・大阪市立の高等学校から各校ずつ登壇いただき、高等学校におけるキャリア教育の先進事例の実践報告を行い、キャリア教育の必要性や実施の意義を参加者と共有する。 後半は、前半の各々の先進事例を踏まえて、社会の変化に伴い「次代を担う人材」とはどういった人材なのか、また、どのように育成することが可能なのか、大学のキャリア教育への接続という視点を入れながらパネルディスカッションを実施する。	□京都市立西宮高等学校 主幹教諭 岩佐 峰之氏 □京都府立洛水高等学校 教務部長 高橋 文正氏 □大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 首席 藤 宏美氏 □京都産業大学 経営学部 准教授 松高 政 □コーディネーター: 京都産業大学 教職課程教育センター長 文化学部 教授 西川 信廣

※登壇者は、当日変更となる可能性がございます。予めご了承ください。